



各位

2019年5月9日

上場会社名 株式会社神戸製鋼所
 代表者 代表取締役社長 山口 貢
 (コード番号 5406)
 問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部長
 本田 和幸
 (TEL 03-5739-6010)

業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2019年2月5日に公表した2019年3月期(2018年4月1日~2019年3月31日)の連結業績予想及び2018年4月27日に公表した2019年3月期(2018年4月1日~2019年3月31日)の個別業績予想と実績に差異が生じたので、次のとおりお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期通期連結業績予想と実績との差異(2018年4月1日~2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2019年2月5日公表)	百万円 1,990,000	百万円 45,000	百万円 25,000	百万円 35,000	円 銭 96.60
実績(B)	1,971,869	48,282	34,629	35,940	99.20
増減額(B-A)	△18,130	3,282	9,629	940	
増減率(%)	△0.9	7.3	38.5	2.7	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	1,881,158	88,913	71,149	63,188	174.43

連結業績予想と実績との差異の理由

売上高は前回(2019年2月5日)公表した業績予想並となったものの、各事業において発生を見込んでいたコストが顕在化しなかったことや、2017年10月に公表いたしました当社グループにおける品質不適切行為[※]に関わるお客様への補償費用等の計上区分を特別損失に変更したことなどから、営業利益及び経常利益が改善しました。

一方で、足下の収益性低下に伴い当社のチタン鍛造品用製造資産や、産業機械事業におけるスウェーデン子会社に係るのれんなどについて減損損失を特別損失に計上したことなどから、親会社株主に帰属する当期純利益は小幅な改善となりました。

※公的規格又は顧客仕様を満たさない製品等(不適合製品)につき、検査結果の改ざん又はねつ造等を行なうことにより、これらを満たすものとしてお客様に出荷又は提供する行為。

2. 2019年3月期通期個別業績予想と実績との差異（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2018年4月27日公表)	百万円 1,080,000	百万円 10,000	百万円 30,000	円 銭 82.66
実績(B)	1,073,791	11,940	14,345	39.52
増減額(B-A)	△6,208	1,940	△15,654	
増減率(%)	△0.6	19.4	△52.2	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	1,041,923	44,449	43,468	119.77

個別業績予想と実績との差異の理由

売上高は前回(2018年4月27日)公表した業績予想並となったものの、特別損失に足下の収益性低下に伴うチタン鍛造品用製造資産についての減損損失や、実質価額が下落した子会社の株式及び出資金の評価損を計上したことなどから、当期純利益は減少しました。

以上